

長野県知事 阿部 守一 様

2010年9月16日

長野県議会 改革・緑新

代表 倉田 竜彦

当面する県政課題に関する提言

先の知事選で当選され長野県知事に就任されましたこと、心からお喜び申し上げます。

今、そして今後に向けて抱える県政課題は様々あり大変な状況ですが、阿部知事が表明した「県民の確かな暮らしを守ることを基本に据え、開かれた、しがらみのない県民主権の県政を実現していく」姿勢を評価し、私達会派は前向きな提言を行うとともに県民生活向上のため率直な論議を行い、県民の満足度が高まる県政へ発展させたいと思っています。

さて、9月定例県議会が24日から予定されていますが、最近の円高等の経済情勢も踏まえ、本県の出来うる景気・雇用対策等、当面する課題について以下の項目を提言致しますので検討賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 製造業など輸出産業が多い本県にとって、最近の円高などによる影響が懸念される中、融資制度の拡充など適切な支援策を行うこと。
2. また、円高等の影響による雇用への波及を防止するため「雇用調整助成金」等の活用などを働きかけ、新たな失業者が生まれないよう防止策を図られたい。

3. そのため、経済4団体等や労働団体との融和と協力を求め、何よりも県民の景気・雇用対策、県民生活優先の協力体制を築かれない。
4. 来期に就職される高校生の就職難が懸念されているため、積極的な対策を講じられたい。
5. 切れ目のない緊急経済対策を推進されたい。
6. 道路・河川等の維持修繕費は、県民生活にとって必要不可欠であることから、県民要望に対応できるよう緊急経済対策も含め十分な予算措置を講じられたい。
7. 先の豪雨災害対策を積極的に行われたい。
8. 「地域公共交通活性化・再生事業」や「鳥獣被害防止総合対策事業」の削減による本県市町村の混乱を踏まえ、国に対し十分な予算を確保するよう強く要請されたい。
9. 北陸新幹線整備に伴う並行在来線への新たな支援策の検討について、山場を迎えることから、国に対し強く要望されたい。
10. 「事業仕分け」の実施に当たっては、県議会議員や市町村長との十分な理解と連携のもとに行われたい。

以 上